

## ■ 「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

令和4年度から令和8年度までを計画期間とする「第2期関西観光・文化振興計画」は、2022年度の文化庁の関西移転、2025年の「大阪・関西万博」の開催等を新たなステージに向けた成長への好機と捉え、持続可能な開発目標(SDGs)、DXなどの時代の変化に対応し、関西が一丸となって取り組む国際観光振興及び文化振興の戦略を示すものとしています。この計画に基づき、関西で観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、「ONE 関西」として、関西が一体となった戦略的な取組を進めています。

なお、現行の計画は、コロナ禍に策定しており、社会・経済情勢の変化に起因する新たな課題が生じた場合には、見直しを行うこととしていました。観光、文化分野ともコロナ禍の影響から急速に回復する一方で、外国人旅行者の一部地域への集中といった新たな課題が生じていることから、現行の計画の終期を待たずに、新しい計画の策定を進めています。

### 計画に掲げた将来像

- ・「文化や観光は、人々の精神を支える基本的、普遍的な価値を有し、SDGsが目指す未来を切り拓くもの」と捉え、世界の人々があこがれる、新時代の「文化・観光首都」関西を創造する

### <将来像実現のための7つの戦略>

#### 1. 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進

文化を活用した「KANSAI」ブランド力の向上と情報発信、文化財・生活文化等の観光資源化、「歴史・伝統・文化」等による観光の推進 など

#### 2. 関西の観光・文化分野におけるDXの促進

効果的なマーケティングの実施、新技術の活用、交通アクセス等の利便性向上

#### 3. 多様な観光客への対応

生活習慣や文化の違い等に配慮した受入環境整備、多様なニーズへの対応強化

#### 4. 関西文化に親しむ機会の創出

関西文化の振興と連携促進、連携交流による関西文化の一層の向上

#### 5. 関西文化の次世代への保存・継承と発展

関西文化の次世代を担う人材育成、関西の文化活動への支援

#### 6. 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進

「大阪・関西万博」参加者等に対する広域周遊の促進、「大阪・関西万博」に向けた環境整備等、「大阪・関西万博」のレガシーの活用

#### 7. 推進体制の確立・強化

関西文化を支えるプラットフォームの活用、関西広域の国際観光推進 など

## ■ 令和6年度予算

「第2期関西観光・文化振興計画」に沿って、特に戦略的に取り組むことについて、当初予算で252,551千円を計上しています。

### 令和6年度分野予算

- ・ 関西ブランドの向上（43,084千円）  
テーマ別観光推進事業、海外観光プロモーションの実施、関西観光本部事業 など
- ・ 基盤整備の推進（26,500千円）  
通訳案内士等の人材育成、関西周遊環境の整備
- ・ ジオパークの魅力発信・周遊促進（1,100千円）  
国内外に向けた魅力発信、ジオパークを巡る周遊観光促進
- ・ 関西文化の魅力発信（181,457千円）  
関西文化の振興と国内外への魅力発信、関西文化の次世代継承、  
大阪・関西万博を契機とした関西文化の振興 など
- ・ 管理費（410千円）

## ■ 取組状況

### 1 関西ブランドの向上

外国人旅行者の関西への誘客に向けて、世界の観光マーケットにおける関西（KANSAI）の知名度を更に上昇させ、ブランドとしての優位性を確保する必要があります。

このため、構成府県市の個々のイメージではなく、「KANSAI」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取組みを展開します。

#### （1）関西観光・文化振興計画の推進

観光、文化分野ともコロナ禍の影響から急速に回復する一方で、外国人旅行者の一部地域への集中といった新たな課題が生じていることから、計画の終期を待たずに、新しい計画を策定することとし、各分野からの有識者・専門家からなる検討委員会を設置し、策定作業を進めています。

#### （2）テーマ別観光推進事業

国内外観光客の関西への来訪動機づくりのため、関西に点在する文化財、食、自然など共通のテーマの観光資源について磨き上げを行う「テーマツーリズム」を推進しています。令和6年度については、「城」をテーマにした関西周遊につながる情報発信の取組を進めています。

#### （3）海外観光プロモーションの実施

「大阪・関西万博」への来場と関西各地域への周遊を促すとともに、万博を契機とした企業間交流や産業観光等を促進するため、西脇副広域連合長を団長として、関西の関係機関とともにシンガポールを訪問し、政府関係者や旅行関係団体等に対して「トッププロモーション」を実施しました。

また、昨年度訪問したタイ国政府観光庁と関西広域連合との間で、観光交流の促進に係る趣意書を締結しました。

#### (4) 関西観光本部事業

関西広域での観光客誘致の推進を目的として、官民が一体となって設立した一般財団法人関西観光本部において、様々な観光プロモーション事業等を戦略的に実施するため、関西広域連合から関西観光本部へ分担金を拠出しています。

令和6年度は、万博に向けた更なる関西への誘客を図るため、現地商談会やファミトリップの実施、広域観光ルートのプロモーションなどに取り組んでいます。

##### <関西観光本部の主な活動>

- ① 海外の現地情報の収集と分析
- ② 関西の訴求力を高める情報発信
  - ・ 観光情報サイト「The KANSAI Guide」を通じた情報発信の強化
  - ・ 海外プロモーションや商談会への参加
  - ・ 国内外のエージェント等を対象としたファミトリップやメディアツアーの実施
  - ・ 訴求力のある海外旅行誌やガイドブックへの情報掲載
- ③ 関西の周遊促進に向けた観光インフラの整備
  - ・ 広域周遊観光ルートの着実な形成・推進
  - ・ 多言語パンフレットなど広域周遊観光ツールの整備 など

#### (5) webによる情報発信

関西観光本部のHPである「The KANSAI Guide」において、万博機運の上昇を捉え、万博に向けて訪日旅行を検討する層に重点を置き、関西各地の魅力の発信しているほか、SNSでの情報発信にも注力しています。

## 2 基盤整備の推進

万博を契機に訪日する外国人の増加が見込まれる中、外国人旅行者が安心して関西観光が楽しめるよう、観光振興の人的インフラである全国通訳案内士の登録業務や、関西観光本部と連携した通訳案内士向けの研修会等を行っています。

また、内閣府のデジタル田園都市国家推進交付金（地方創生推進タイプ）を活用し、観光案内所のネットワーク化機能の強化による広域観光案内の仕組みの構築等に取り組んでいます。

## 3 ジオパークの魅力発信・周遊促進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西各地への周遊を促進するため、関西の優れた地質景観スポットを海外に情報発信しています。

令和6年度は、国内外への情報発信に加え、台湾人向けに鳥取砂丘や熊野古道など山陰海岸及び南紀熊野ジオパークを巡る旅行商品を販売しているほか、外国人観光客のジオパークでの周遊を見据えて、ジオパークに通じた人材の育成等を実施しています。

## 4 文化振興の取組

### (1) 関西文化の振興と国内外への魅力発信

関西元気文化圏の取組として、関西2府8県4政令市の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て、常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施するとともに、11月を「関西文化月間」と位置づけ、観光情報サイト「The KANSAI Guide」の芸術文化情報と連動し、文化施設等の情報を発信しました。

また、令和7年2月に実施する大阪・関西万博に向けた文化発信イベント「KANSAI 感祭」大阪会場と連動し、テーマ毎に周遊モデルコースを掲載し関西各地の文化施設をつなぎ紹介するボードゲーム型のガイドブックを作成し、文化観光を推進します。



### (2) 連携交流による関西文化の一層の向上

関西広域連合エリアには、世界文化遺産をはじめ有数の歴史文化遺産が集積しており、その魅力の効果的な発信や、各地域が交流し研鑽することにより関西の文化力を高めるため、観光関係団体と連携し、フォーラムの開催など、世界遺産や文化観光等共通テーマを定めて関西の歴史文化遺産を一体的に広く情報発信しています。

令和6年度は、令和7年2月に実施する「KANSAI 感祭」兵庫会場において、「文化観光の視点から捉える近代建築」をテーマに歴史文化遺産フォーラムの開催を予定しています。



### (3) 関西文化の次世代継承

文化庁の伝統文化親子教室事業を活用し、小中学生を対象に、「みんなで学ぼう！伝統文化教室」（湖響太鼓、能楽囃子、米子がいな太鼓、日本舞踊）を実施し、関西各地の伝統文化を体験・鑑賞できる機会を創出しました。



### (4) 産学官連携による関西文化の創造

(公社) 関西経済連合会、関西元気文化圏推進協議会等のメンバーで構成する「文化創造・交流プラットフォーム」による多分野交流を通じて、関西から次世代の新しい日本文化を創造し発信する取組を推進しています。

令和6年度は、「KANSAI感祭」大阪会場において、関西在住の高校生等とのづくり企業の「共創」による制作作品を展示・発表を予定しています。

### (5) 大阪・関西万博を契機とした関西文化の振興

文化庁の関西移転、2025年大阪・関西万博の開催を契機に、関西文化の情報を一元的に扱うポータルサイトの開発によって、文化施設を巡るデジタルパスポートの発行、サイト利用情報などビッグデータの活用やAIによる利用者の好みに応じた文化情報の

提案をするとともに、文化・観光イベント等の機会を活用し、関西を代表する舞台芸能、地域の伝統芸能等の魅力を国内外に広くPRするとともに関西への誘客促進に取り組んでいます。

令和6年度は、デジタルパスポートの利用を促進する取組として、「関西文化の日」参加施設などと連動し、11月から1月にデジタルスタンプラリーを実施するとともに、「KANSAI 感祭」では、他分野事務局や関連する催事とも連携しながら、関西各地の伝統芸能、食文化等を発信する予定です。

